

ご 挨拶

日本顕微鏡学会第70回記念学術講演会の開催にあたって

公益社団法人日本顕微鏡学会会長 大野 伸一
第70回記念学術講演会 実行委員長 幾原 雄一

日本顕微鏡学会第70回記念学術講演会は、来る2014年5月11日(日)～13日(火)、関東地区の幕張メッセ国際会議場において開催されることとなりました。今回は70回目という節目の講演会でもありますし、会員の皆様には是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

近年の顕微鏡学は大きな転換期にあります。収差補正技術の普及、ダメージレスな観察手法の開発、その場観察技術の高度化、超高感度カメラ技術、解析ソフトウェアなどの高度化は目覚ましく、現在もその発展の過程にあります。さらにこれらの技術が、材料、物質、生体の解析に応用されつつあり、顕微鏡の応用分野においても革新的な展開がなされています。顕微鏡学はまさに、今後の科学技術の発展にとって益々必要な存在になりつつあります。

一方、本学術講演会は、今回で70回目を迎えました。この記念すべき講演会において、最先端の顕微鏡学の議論に加えて、これまでのこの分野で蓄積されてきた技術も新たな視点で見つめなおすことも肝要であると考えます。このような背景から、今回の学術講演会ではそのテーマを、「顕微鏡学の来し方行く末」としました。このテーマに沿い、プログラム委員会において、装置系・材料系では、「超高分解能イメージングがもたらす新時代—収差補正電子顕微鏡の最前線—」、「地球惑星物質の顕微観察—はやぶさ試料から放射能汚染まで—」、「世界結晶年企画：電子顕微鏡による精密結晶構造解析—高精度化への挑戦—」、生物系では、「医学・病理の研究のために必要な電子顕微鏡技術」、「ナノメートルレベルの新しい光学顕微鏡」、「超高速カメラ技術」などタイムリーな多くのシンポジウムを企画させて頂きました。

顕微鏡学会では国際化に向けた展開も課題になっております。今回は新たな取り組みとして、世界各国から顕微鏡学における第一人者や著名研究者を多数招聘しました。彼らが本学術講演会に参加することで、彼らに、講演、議論、展示会を通じて我国の顕微鏡学会の実情を認識してもらうとともに、学会の国際化の足掛かりになればと願っています。また、今回の学術講演会では、シンポジウム、一般講演をバランスよく織り交ぜることで、タイムリーかつオリジナルな研究発表を同時に取り込むことを意図しました。さらに、恒例の瀬藤賞講演、冠ワークショップ、チュートリアルセッション、企業展示などの場の充実にも努めました。また、会期前日の5月10日(土)には、顕微鏡学の啓蒙普及と発展のために、市民講座を開催いたします。今回は、2011年にノーベル化学賞を受賞されたイスラエル工科大学のダン・シェヒトマン教授、2012年に日本学士院賞を受賞された大阪大学の難波啓一教授の講演会を開催する予定です。講演会には、東日本大震災から立ち直りつつある福島県の高校生を招待するとともに、実際に電子顕微鏡を使って体験するコースも準備しました。

顕微鏡関連分野で活躍しておられる多くの研究者、技術者、学生の皆様がこの第70回学術講演会にご参加くださいますことを、実行委員ならびに学会関係者一同、心よりお待ちしております。

第2日目：5月12日（月）

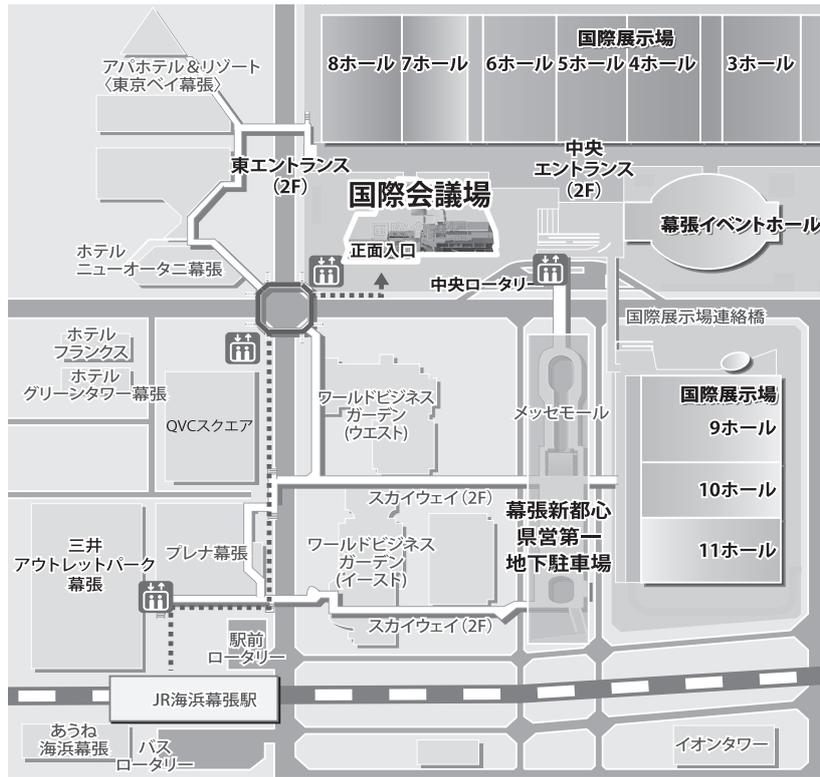
A会場 国際会議室	スクール+シ アター 480席	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
B会場 201	シアター 268席		II. TEM/STEM			総会	瀬藤貴講演				SM4. 走査電子顕微鏡が与える豊かな情報		
C会場 301	シアター 242席		SML1. 分析電子顕微鏡フロンティア								SML1. 分析電子顕微鏡フロンティア		
D会場 302	シアター 160席		SM3. 先端材料の高分 解析最前線				SM3. 先端材料の高分 解析最前線				SM3. 先端材料の高分 解析最前線		
E会場 303	シアター 160席		SP2. 世界結晶年企画： 電子顕微鏡による精密結晶構造解析				OT2. 欧文誌 "Microscopy" の成長戦略				I6. 各種位相法		
F会場 103	シアター 150席		OT7. 冠WS カーラツァイス マイクロスコピー				OT1. 文部科学省ナノテクノロジー プラットフォーム事業						
G会場 104	シアター 160席		SB6. 超解像イメージング 技術と 細胞生物学への応用				SB4. ライブイメージングの最前線						
H会場 105	シアター 150席						B. 医学・生物科学						
コンベンション ホール							ポスター・写真展示 機器展示						

懇親会
ホテルニューオータニ
幕張
鶴の間

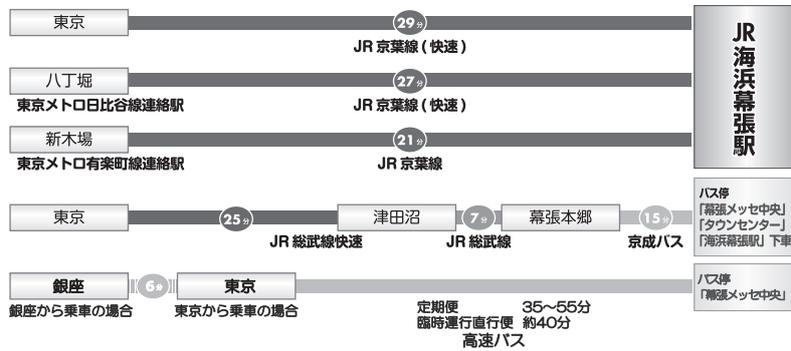
第3日目：5月13日（火）

A会場 国際会議室	スクール+シ アター 488席	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
B会場 201	シアター 268席	SM4. 走査電子顕微鏡が与える 豊かな情報	SM4. 走査電子顕微鏡が与える 豊かな情報	日本電子	日本電子		SM4. 走査電子顕微鏡が与える 豊かな情報						
C会場 301	シアター 242席	I5. 分析電子顕微鏡	I5. 分析電子顕微鏡	カルツァアイ スマイクロス コピー	カルツァアイ スマイクロス コピー		M6. ナノ材料						
D会場 302	シアター 156席	SP3. 地球惑星物質の顕微鏡観察	SP3. 地球惑星物質の顕微鏡観察	日立ハイテ クノロジー	日立ハイテ クノロジー		SP3. 地球惑星物質の顕微鏡観察						
E会場 303	シアター 156席	M11. 表面・界面	M11. 表面・界面	日本エフ イー・アイ	日本エフ イー・アイ		M2. 半導体	M7. 磁性材料・ 誘電材料					
F会場 103	シアター 150席	OTM. 高分子学 会連携ワー クショップ	OTM. 高分子学 会連携ワー クショップ	オックス フォード・イ ンスツルメン ツ	オックス フォード・イ ンスツルメン ツ		OT5. IIRS共催冠シ ンポジウム						
G会場 104	シアター 150席	SB7. 高速・大規模データ取得 のための顕微鏡技術	SB7. 高速・大規模データ取得 のための顕微鏡技術	GATAN	GATAN		SB5. 各種免疫電顕法の ライフサイエンス研究への利用						
H会場 105	シアター 150席												
コンベンション ホール		ポスター・写真展示 機器展示	ポスター・写真展示 機器展示						撤去				

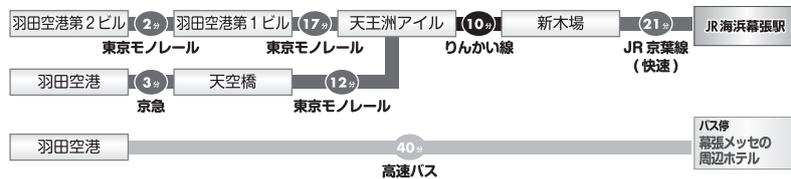
交通のご案内



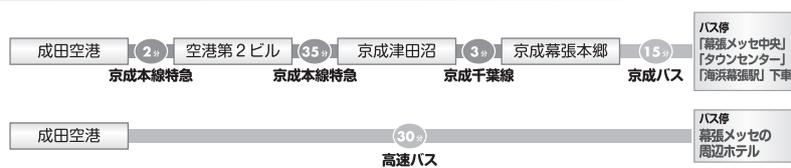
→ 東京都心から



→ 羽田空港から



→ 成田空港から

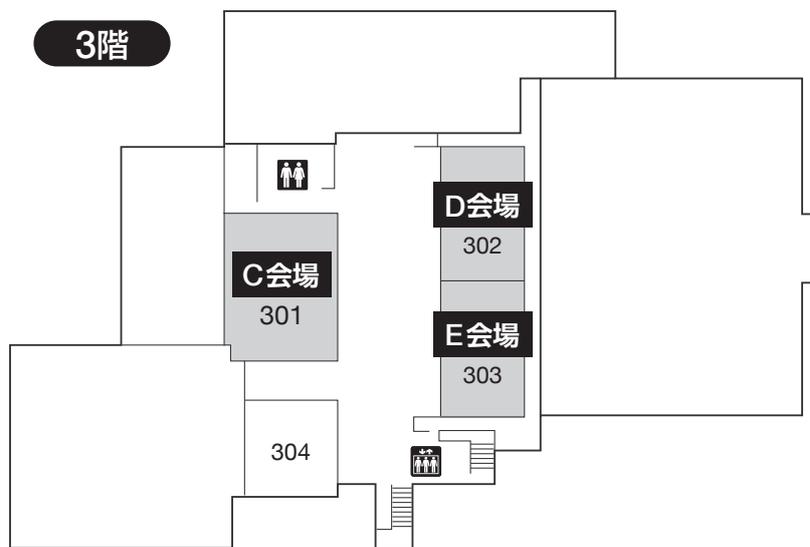


● 内の数字は乗車時間の目安です。*乗換に必要な時間は含まれておりません。

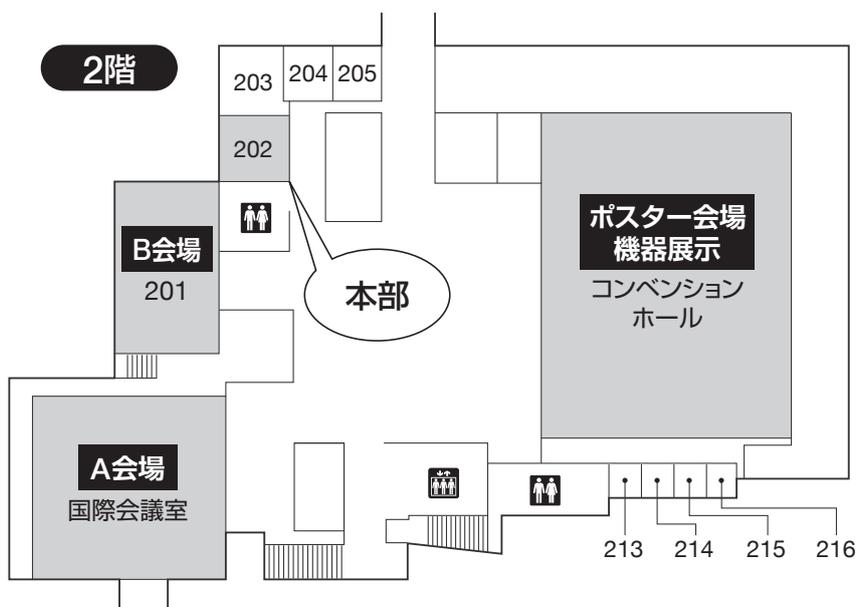
会場のご案内

幕張メッセ国際会議場

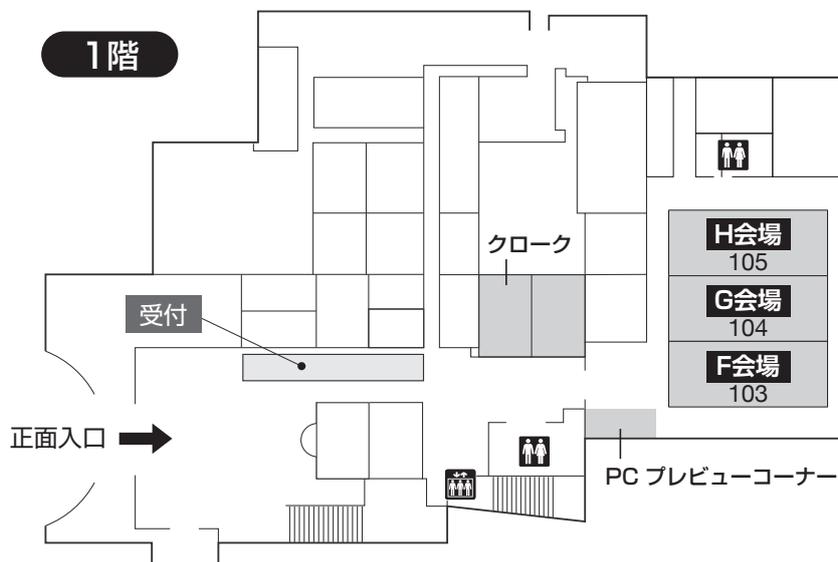
3階



2階



1階



参加者の皆様へ

1. 参加について

(1) 受付

国際会議場1階にて、5月11日(日)8:30より受付を行います。

(2) 参加登録がお済みの方

事前登録受付にてお名前をお伝えください。学術講演会の参加証兼領収書をお渡しいたします。また、発表要旨集を予約されている方には、発表要旨集をお渡しいたします。

(3) 参加登録がお済みでない方

当日、学術講演会会場の受付にて参加登録を行ってください。

(4) 参加費等

日本顕微鏡学会第70回記念学術講演会のホームページ (<http://www.microscopy.or.jp/conf2014/>) をご確認の上、参加費等を4月15日(火)までにお振り込みください。

(1) 記念学術講演会参加費

		早期登録 2014年4月4日(金)まで	通常登録 2014年4月5日(土)～ 4月15日(火) および当日登録
日本顕微鏡学会正会員		10,000円	12,000円
協賛学会等	日本臨床分子形態学会会員 医学生物学電子顕微鏡技術学会会員 日本金属学会会員 日本結晶学会会員 日本セラミックス協会会員 応用物理学会会員 日本物理学会会員 日本解剖学会会員 日本組織細胞化学学会会員 日本鉄鋼協会会員 日本学術振興会 第133委員会 高分子学会会員	10,000円 ¹⁾	12,000円 ¹⁾
一般非会員		15,000円 ¹⁾	17,000円 ¹⁾
学生	日本顕微鏡学会学生会員	無料	無料
	非会員 (学部学生・大学院生)	7,000円 ²⁾	7,000円 ²⁾

¹⁾ 日本顕微鏡学会非会員で招待講演者の方は参加費および懇親会費無料です。

²⁾ 学生の方は、学生証を受付で提示してください。

(2) 懇親会費

		早期登録 2014年4月4日(金)まで	通常登録 2014年4月5日(土)～ 4月15日(火) および当日登録
日本顕微鏡学会正会員		9,000円	11,000円
協賛学会等	日本臨床分子形態学会会員 医学生物学電子顕微鏡技術学会会員 日本金属学会会員 日本結晶学会会員 日本セラミックス協会会員 応用物理学会会員 日本物理学会会員 日本解剖学会会員 日本組織細胞化学学会会員 日本鉄鋼協会会員 日本学術振興会 第133委員会 高分子学会	9,000円 ¹⁾	11,000円 ¹⁾
一般非会員		10,000円 ¹⁾	11,000円 ¹⁾
学生	日本顕微鏡学会学生会員	3,000円 ²⁾	4,000円 ²⁾
	非会員(学部学生・大学院生)	4,000円 ²⁾	5,000円 ²⁾

¹⁾ 日本顕微鏡学会非会員で招待講演者の方は参加費および懇親会費無料です。

²⁾ 学生の方は、学生証を受付で提示してください。

(3) 発表要旨集費

早期登録 2014年4月4日(金)まで	通常登録 2014年4月5日(土) ～4月15日(火) および当日登録
2,500円	3,000円

※予約申込分の要旨集も学術講演会会場にてお渡しします。

2. 機器展示

学術講演会の会期中、2階コンベンションホールに顕微鏡及び関連機器、その他の研究用機器等が展示されます。是非、ご覧ください。

3. 冠ワークショップ

OT1. 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業

5月12日(月)14:00～17:00 F会場

OT2. 欧文誌“Microscopy”の成長戦略

5月12日(月)14:00～17:00 E会場

OT3. 風戸研究奨励会

5月11日(日)13:30～16:30 F会場

OT4. 高分子学会連携冠ワークショップ

5月13日(火)10:30～11:30 F会場

OT5. IIRS 共催冠シンポジウム

5月13日(火)13:15～15:40 F会場

OT6. 日本電子株式会社

5月12日(月)16:00～16:30 D会場

OT7. カールツァイスマイクロコピー株式会社

5月12日(月)9:00～11:00 F会場

OT8. ライカマイクロシステムズ株式会社

5月12日(月)16:45～17:15 D会場

4. ランチョンセミナー

下記のスケジュールで、ランチョンセミナーを行います。

5月11日(日)12:00～13:00

5月13日(火)12:00～13:00

★ランチョンセミナーの整理券は、発行いたしません。

5. その他

- クロークは1階受付付近にご置きます。
- 会場内での呼び出しはいたしません。受付付近の伝言・掲示板をご利用ください。
- お車でのお来場の方は、近隣の駐車場をご利用ください。
- 学術講演会の会期中、日本顕微鏡学会事務局が受付業務（学会費納入、入会申込等）を行います。

1. 学術講演発表（口頭発表）

(1) 発表時間

演題番号の右に講演時間が記載されています。

(2) 口頭発表形式

PC発表のみです。各会場に、

- PC1台（Windows,Microsoft office 2000/2002/2003/2007/2010/2013）
- PC用プロジェクター1台（解像度XGA; 1024×768）
- スクリーン1面を用意いたします。
- セッション開始15分前までに会場内のオペレーター席までPCをご持参ください。
- 会場の試写コーナーにて事前に動作テストやデータ確認などが行えます。
不具合などは、試写コーナーのスタッフにご相談下さい。
～ご自身のPCを持参される方へ～
- 各会場にD-sub15ピン（ミニ）のケーブルを用意いたします。
コネクタが必要な場合は、各自でご持参ください。
（Macintoshを使用される方は必要となります）
- 画面の解像度は XGA（1024×768）です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れますので、あらかじめ、PCを設定しておいてください。
〈画面設定方法〉
Windows: デスクトップ画面上でマウスを右クリックし、【画面のプロパティ】を開いた後、【設定画面】を開き、【画面の解像度】を1024×768に設定し、【適用】をクリックしてください。
※PCによっては操作が若干異なります。
Macintosh: 機種やバージョン、使用するソフトウェアにより操作が異なります。
マニュアル等でご確認ください。
- スクリーンセーバーと省電力設定は解除しておいてください。
- 不測の事態に備えて、必ずバックアップデータもお持ちください。

2. 学術展示発表（ポスター発表）

(1) 会場

国際会議場2階コンベンションホールおよびホワイエ

(2) 貼付および撤去時間

ポスター貼付、および撤去は下記のスケジュールにて行ってください。

貼付：5月11日(日)9:00～11:00

撤去：5月13日(火)14:30～15:30（原則最終日までの貼付をお願いします）

※最終日までに撤去されなかったポスターは実行委員会にて処分いたしますのでご了承ください。

(3) 討論

ポスター討論は下記のスケジュールにて行ってください。

5月11日(日)16:45～18:15

16:45～17:30（講演番号末尾奇数）

17:30～18:15（講演番号末尾偶数）

発表者は上記時間帯にはリボンを付けて、各自のポスター前にて質疑に応じてください。

(4) 展示要領

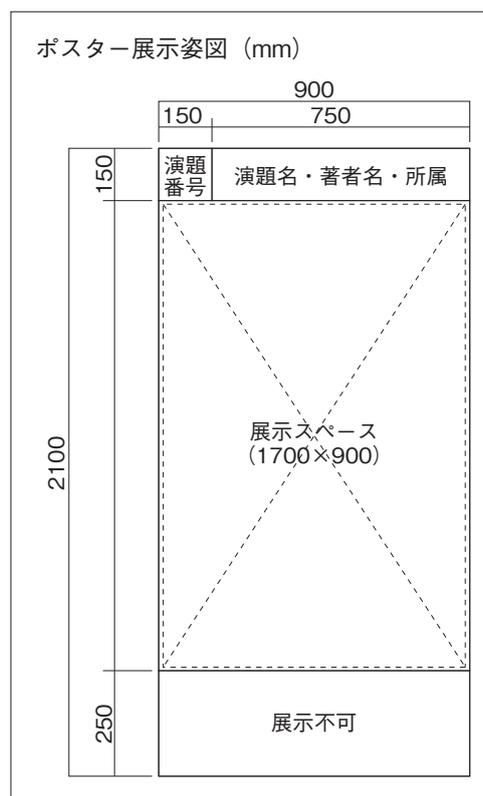
1演題につき、

●パネル（縦2100 mm×横900 mm）1枚

●ポスター番号（縦150 mm×横150 mm）を準備いたします。縦150 mm×横750 mmのサイズに演題名、著者名、所属を記入したものを各自でご用意ください。展示にご使用いただける掲示スペースは縦1700 mm×横900 mm（最大）です。

(5) 優秀ポスター賞について

会期中、ポスター賞選考委員会により優秀ポスター賞を選定します。受賞者には懇親会（5月12日(月)18:30～ホテルニューオータニ幕張 鶴の間）にて優秀ポスター賞を授与します。



3. 写真コンクール

(1) 会場

国際会議場2階ホワイエ

(2) 展示期間

5月11日(日)11:00～5月13日(火)14:30

(3) 貼付および撤去時間

写真貼付および撤去は下記のスケジュールにて行ってください。

貼付：5月11日(日)9:00～11:00

撤去：5月13日(火)14:30～15:30

※指定時間内に撤去されなかった写真は実行委員会にて処分いたしますのでご了承ください。

(4) 展示要領

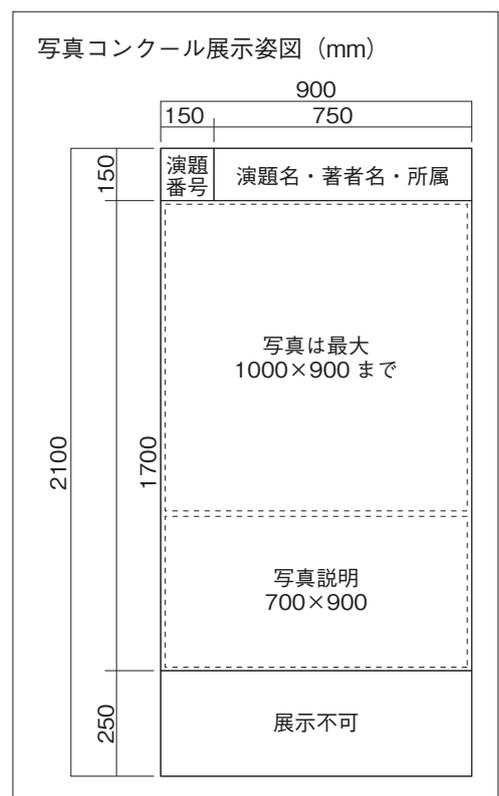
1作品につき、

●パネル(縦2100mm×横900mm)1枚

●写真番号(縦150mm×横150mm)を準備いたします。縦150mm×横750mmのサイズに演題名、著者名、所属を記入したものを各自でご用意ください。縦1700mm×横900mm(最大)のスペースに、各自、原稿に使用したのと同じ写真とその説明を展示してください。写真のサイズは1000mm×900mm(最大)です。

(5) 投票・結果発表

学術講演会参加者に写真コンクールの投票用紙をお渡しいたします。5月12日(月)14:00までに写真コンクール会場に設置された投票箱に投票してください。最優秀作品は、懇親会(5月12日(月)18:30～ ホテルニューオータニ幕張 鶴の間)にて表彰します。



テーマ：「目で観る世界最先端の物質科学・生命科学」

日時：2014年5月10日(土) 13:15～15:00 (12:30開場)

会場：東京大学・伊藤国際学術研究センター

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/access.html>

中学・高校生以上の一般市民の皆様を対象とした市民公開講座を開催いたします。今回は、2011年にノーベル化学賞を受賞されたシェヒトマン教授をお招きし、電子顕微鏡による新物質発見にまつわるお話をしていただきます（同時通訳あり）。大阪大の難波教授のお話では、生命活動を担う超分子の仕組みについて、マイクロ視点からそのダイナミックな挙動を堪能していただきます。また、日本顕微鏡学会の写真コンクール受賞作品をはじめとして、顕微鏡で撮影された写真を展示します。さまざまなマイクロの世界をご鑑賞ください。

(12:30開場)

13:15

開会の挨拶

13:20～14:10

「電子顕微鏡で発見された新物質—準結晶」

ダン・シェヒトマン教授（イスラエル工科大学、2011年ノーベル化学賞）

14:10～15:00

「生命を支える超分子ナノマシン」

難波啓一教授（大阪大学、2012年恩賜賞・日本学士院賞）

参加費：無料

聴講対象：中学生以上

受付：E-mailもしくはFAXをお願いします。

1. E-mail受付：表題に「顕微鏡市民公開講座希望」と書き、本文に住所・氏名・年齢・電話番号をお書きの上、jsm70-shimin@congre.co.jpまで送信して下さい。
2. FAX受付：「顕微鏡市民公開講座希望」と明記し、住所・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、FAX番号03-5216-5552までお送り下さい。先着順に参加登録いたします。当日は送信していただいたFAX用紙または送信メールのプリントをお持ちいただくと受付がスムーズです。

問い合わせ：市民公開講座実行委員会 (jsm70-shimin@congre.co.jp)

協力企業一覧

協力

日本電子株式会社
株式会社 日立ハイテクノロジーズ
GATAN Inc.
有限会社HREM
東京貿易テクノロジー
E. A. Fischione Instruments, Inc.
株式会社 TSL ソリューションズ
UBE 科学分析センター
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
西華産業株式会社
日新EM株式会社
メイワフォーシス株式会社
オックスフォード・インストゥルメンツ(株)
Hysitron Inc.
ちば国際コンベンションビューロ
日本エフイー・アイ株式会社

展示

有限会社HREM
ライカマイクロシステムズ株式会社
オックスフォード大学出版局
日本電子株式会社
浜松ホトニクス株式会社
日新EM株式会社
日本エフイー・アイ株式会社
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社
株式会社真空デバイス
株式会社ステム
株式会社堀場製作所
ブルカー・エイエックスエス株式会社
カールツァイスマイクロコピー株式会社
興研株式会社
フィルジェン株式会社
FISCHIONE JAPAN 合同会社
株式会社日立ハイテクノロジーズ
Boeckeler Instruments Inc
東京貿易テクノロジー株式会社
株式会社三友製作所
独立行政法人物質材料研究機構
株式会社メルビル
株式会社ソリューションシステムズ
Munro's Electron Beam Software Ltd.
株式会社大和テクノシステムズ
株式会社アライアンスバイオシステムズ
名古屋大学 エコトピア科学研究所
兵庫県立大学大学院 生命理学研究科 ピコバイオロ
ジー専攻
日本カンタム・デザイン株式会社

ダイキン工業株式会社
テラベース株式会社
エルミネット株式会社
アメテック株式会社 エダックス事業部
株式会社 TSL ソリューションズ
西華産業株式会社
株式会社テクノラボ
株式会社ニコン
サンユー電子株式会社
株式会社アド・サイエンス
GATAN Inc.
テガサイエンス株式会社
日本フィジテック
株式会社東陽テクニカ

冠WS

日本電子株式会社
カールツァイスマイクロコピー株式会社
ライカマイクロシステムズ株式会社

ランチオン

日本電子株式会社
日本エフイー・アイ株式会社
オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社
カールツァイスマイクロコピー株式会社
株式会社日立ハイテクノロジーズ
GATAN Inc.

広告

有限会社HREM
日本電子株式会社
日本エフイー・アイ株式会社
メイワフォーシス株式会社
株式会社真空デバイス
株式会社堀場製作所
ブルカー・エイエックスエス株式会社
株式会社日立ハイテクノロジーズ
FISCHIONE JAPAN 合同会社
株式会社ニューメタルスエンドケミカルスコポー
ション
独立行政法人物質材料研究機構
株式会社大和テクノシステムズ
西華産業株式会社
新東Sプレジジョン株式会社
株式会社日本ローパー
有限会社日本フィジテック